

平成 30 年度

兵庫県女性消防団員 活性化研修会 報告書



(公財)兵庫県消防協会キャラクター「消太くん」

日時

平成 30 年 8 月 26 日 日

10:30～15:30

場所

兵庫県広域防災センター 兵庫県消防学校

主催：公益財団法人兵庫県消防協会、兵庫県

はじめに

平成30年8月26日（日）、兵庫県広域防災センター兵庫県消防学校（三木市）にて、「兵庫県女性消防団員活性化研修会」を開催いたしました。

今回の研修内容は、富山県小矢部市消防団の嶋田分団長の講演、姫路市の女性消防団員の皆さんによる活動事例発表、そしてグループディスカッションを行い、県内各消防団から、78名の女性消防団員が参加されました。

講演や活動事例発表により、参加者が今後の活動の参考とするだけでなく、共感できる点や、気づかされた点などもあり、多くのことを学ぶ機会を作る事ができました。

グループディスカッションでは、同じ思いを持って活動している者同士、情報を共有したり、意見を交換したり、実情に対する問題点を話し合うことができ、有意義な時間を持つことができました。

本研修会が女性消防団員の皆さんの活動に更なる活性化をもたらすことを期待し、報告書としてまとめました。県内の女性消防団員が一堂に会し、交流を図ることで、女性消防団員の横の繋がりが強まり、女性消防団員の活動の活性化にも繋がります。女性消防団員が更なる活躍の場を広げ、地域防災力の向上に繋がることを祈念しています。

目 次

I プログラム

◇開 会

(10:30)

1 挨拶

筆保 慶一氏 ((公財) 兵庫県消防協会事務局長) 1

2 講演

(10:40) 『女性消防団員として活動を続け輝くために』

嶋田 幸恵氏 (富山県小矢部市消防団分団長) 5

3 事例発表

(12:00) 『姫路市女性消防団活動事例発表』

姫路市女性消防団 21

[休憩 12:30]

4 グループディスカッション

(14:00) テーマ①『地域に貢献する女性消防団の活動』

テーマ②『女性消防団員確保の効果的な取り組み』

◇閉 会

(15:30)

II 大会資料

1 講演資料 (パワーポイント) 29

2 グループディスカッション結果 47

3 アンケート調査結果 61

あいさつ

1 あいさつ



筆保 慶一

公益財団法人兵庫県消防協会事務局長

本日研修会を開催しましたところ、このように大勢の皆様方に御出席をいただきありがとうございます。さて、台風 20 号が兵庫県に上陸し、各消防団におかれましても警戒態勢をとられたと存じます。実際、姫路市に上陸してそのまま北上して日本海に進んだのですが、夜中でもあり、強い豪雨、暴風雨で、皆さん方も不安であったのではないかと思います。しかしながら県内におきましてはそれほど大きな被害もなく、本日こうして予定どおり活性化研修会を開催することになり、ほっとしているところでございます。

さて、昨年 6 月に兵庫県で初めて女性消防団の活性化大会を開催させていただきました。当日は県内外の女性消防団の皆様方に講演や活動事業の発表をしていただきました。本日御出席の皆様方も多く参加いただいたと思いますけれども、兵庫県内の女性消防団員、団の幹部の皆様、特に女性消防団員のいない幹部の方にも声をかけ、約 400 名の参加をいただいて実施しました。その後、2つの消防団において、初めて女性団員が入団されるなど、少しずつですが女性消防団員の充実確保が進んでいると考えているところです。

今年の活性化研修会ですが、昨年 6 月の活性化大会、そして今年 2 月の技術研修会でのアンケート調査による皆様方の御意見から、「自分たちの女性消防団員としての軸となるような活動がない」、「どういう活動をしたら効果的なのかわからない」、「女性団員そのものが少なくてなかなか活動ができない」というような課題がございました。さらに、「色々な消防団員の活動内容を具体的に知りたい、具体的に情報交換や意見交換をしたい」という御希望もございましたので、本年度は、講演と活動報告に加えまして、そうした課題が議論できるようなグループディスカッションを盛り込んだ企画とさせていただきます。

本日は、講演で富山県小矢部市消防団の嶋田幸恵分団長様、そして、活動報告では姫路市女性消防団員の皆様方をお願いしております。皆様、大変お忙しい中、本日御協力いただけることを心からお礼申し上げたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

そうした中、今年 4 月も大阪府北部地震がありましたし、西日本の広範囲にわたる豪雨災害もございました。頻繁に台風が発生する今年の夏、また、非常に暑い夏だということで、様々な自然災害が

全国的に発生した状況でございます。女性消防団の皆様方の地域に根差したきめ細かい活動が、地域防災力の向上のためにはなくてはならないものだと考えているところでございます。

県消防協会と兵庫県内各市町が連携し、女性消防団員の入団促進、活動の活性化の支援を積極的に引き続き取り組んでまいりたいと考えているところでございます。皆様方におかれましても、これまでに引き続き御理解と御協力をいただきますようお願いを申し上げます。

最後になりましたけども、この活性化研修会、皆様方の知識や技術の向上、さらに女性消防団同士の連携も深めていただき、実り多き研修会となることを期待申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い致します。



講演・活動事例発表

2 講 演

「女性消防団員として活動を続け 輝くために」

富山県小矢部市消防団分団長

嶋田 幸恵氏

※パワーポイント資料掲載 P29～P41



【はじめに】

今、御紹介をいただきました富山県の小矢部市から参りました消防団の分団長をしております。

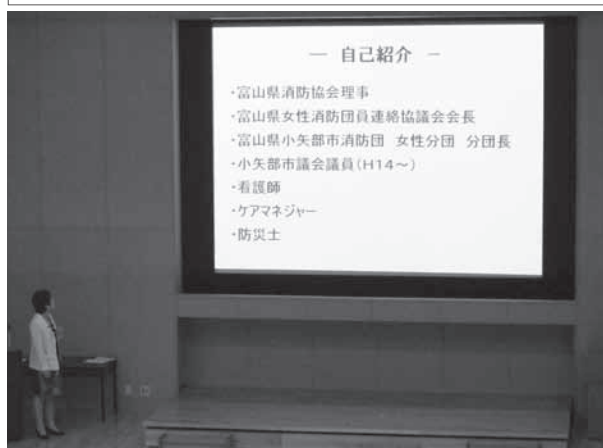
今日、兵庫県の皆様の活性化研修会にお呼びをいただきまして、誠にありがとうございます。私は一分団の団員で、皆様と同じように活動させていただいているということで、何か、もし皆さんのお役に立つようなことがあればいいなと来させていただきました。今、お話したように、富山県の分団長をしていますが、富山県には女性消防団員連絡協議会があります。お話を聞いていると、全国ではなかなかそういう会を持っていらっしゃるお話を聞いているので、その中で、皆さんの活動や何かの動きにつながっていけば良いと思っております。

自分自身は看護師をしておりまして、子供が4人おります。夫が自営をしたいということで、市役所の臨時職員で、訪問指導をしたり、予防接種に回ったりしているときに、女性団体から女性議員に出てほしいということで、親戚、同級生、全くいない夫婦でしたけれども、今、女性議員をやっています。



— 自己紹介 —

- ・富山県消防協会理事
- ・富山県女性消防団員連絡協議会会長
- ・富山県小矢部市消防団 女性分団 分団長
- ・小矢部市議会議員(H14～)
- ・看護師
- ・ケアマネジャー
- ・防災士



【消防団手帳】

皆さん、消防団手帳は御存じですか。持っておられる方いらっしゃいますか？私、この消防団手帳がすごく好きです。昨日まじまじと見てみると、1年間にどういう災害が起こったかも書き記してあります。これを毎年購入するようにしています。

平成25年に、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を進める法律が制定されました。近い将来の大規模な地震の発生が懸念される。自然災害、いわゆる地震、大雨洪水、台風、が発生している中で団員の確保が急務になっていると思いますが、その法律について消防団手帳に書いてあります。消防団の充実強化。消防団は大事ですということだろうと思いますけれども、常備消防の消防本部、消防署とは、連携協力していかないとだめですよということです。消防団の良いところは、即時対応力、要員動員力、地域に密着しているという点があります。誰がどこにどんなふうに住んでいるかわかっている。あそこのおばあちゃん見えないよ、ひょっとしたら家屋の下になっているかもしれない。あそこは車椅子の対応の人がいるなど、どのような方が住んでいらっしゃるか、地域に密着していることがとても大事です。それがわかっているのが消防団ということが書いてあります。

消防団の数は、このところずっと減少しています。男性は減っているけど、女性は増えているという話もありますが、最近、女性も余り急激に増えていることはないと思います。結局、自分たちの地域は自分たちで守るのだという気持ちが、少し変わってきているのではないかとことや、公務員が入団しやすくなるように特例の規定を設けて、事業者の協力や、大学生の入団促進をしてほしいということも書いてあります。

【女性消防団員の現状】

消防団の団員数は減ってきています。女性消防団員は右肩上がりです上がっていると思いますけれども、私たち富山県の女性消防団員の入団を見ると、働いているとか、日曜日は出られませんとか、日

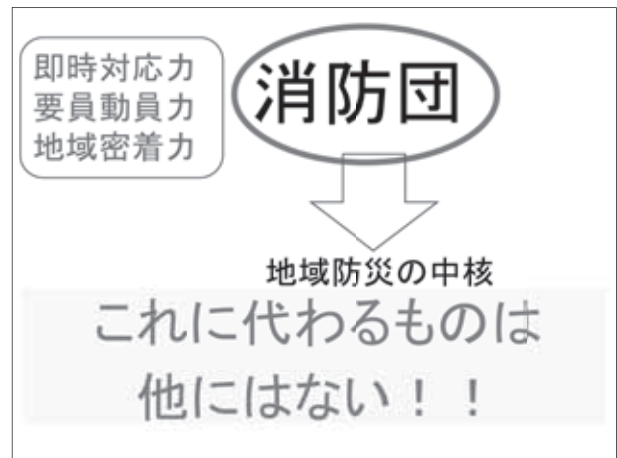


消防団を中核とした地域防災力の充実化に関する法律

① 基本的な考え方

近年最大の被害をもたらした東日本大震災や引き続き様々な災害を経験し、さらに近い将来の大規模な地震の発生が懸念され、地域防災力の重要性が増大していますが、一方、少子高齢化の進展など防災活動の担い手の確保が困難になっています。そのようななか、住民の皆さんの積極的な参加の下に、国と地方公共団体も責任を果たしながら、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を進めることを目的として、この法律が制定されました。

消防手帳(平成25年12月13日制定)



中なんて仕事ですから活動できませんという方もいて、少し女性消防団員の増加もとまっているのかなと思います。

【消防団の充実強化】

消防団の充実強化に向けた「消防庁の最近の取り組み」。これは今お話したように、学生の消防団の活動の認証制度。それから女性や若者の消防団の加入促進事業。

都道府県に重点的に取り組んでいただきたいことは、大学生等の消防団への加入促進です。そして、消防団の協力事業所に係る特例措置の導入。また、公務員の消防団への加入促進。私も議員ですので、皆さん、消防団に入っていますかと職員の方々へ言うのですが、なかなか数が上がっていません。公務員の方は、もし災害が起されば、自分たちは自分たちの仕事あるのですからとおっしゃいますが、活動がどんなものか知るだけでも良いと思うので、できるだけ入ってほしいと促しているところです。市町村にお願いをするということで、重点的に取り組んでいただきたいこと。一番は女性消防団の加入促進に力を入れてほしい。いろいろと皆さん、今やってらっしゃる活性化研修会など、いろいろなご支援をいただいているだろうと思っています。

【富山県の消防団活動】

富山県では、県東部、富山市、高岡市、県西部。私は小矢部市にいますが、大体400名ぐらい女性消防団員がいます。

私たちの富山県の消防団の活動を見ていただきたいと思います。

①女性消防団員の連絡協議会

消防団の中から分団長を出しまして40名ぐらいで、女性消防団員の連絡協議会をつくり、年間行事に参加したり、情報交換をする場としています。最初は集まっても、報酬のことや、活動のことなどばらばらでした。今、話し合ったことがどうなったのかというお話もあって、みんながどんな活動しているかを1冊の本にまとめようということになりました。皆さんの団員数、活動目標、どんな活動



都道府県に重点的に取り組んでいただきたいこと

1.大学生等の消防団への加入促進

2.消防団協力事業所に係る特例措置等の導入

3.公務員の消防団への加入促進

市町村に重点的に取り組んでいただきたいこと

- ・**大学生の消防団への加入促進**
- ・**学生消防団活動認証制度の導入**
- ・**大学生等の消防団への入団に係る条例改正**
- ・**大学生等の消防団活動への理解促進**
- ・**女性の消防団への加入促進**

をしているのかをまとめて、本をつくりました。今、2冊目で、後から出てくると思いますが、その中の自分たちが頑張っている活動を見ていただきたいと思います。

②魚津市

保育園や幼稚園へ出かけ、救急講習のサポート。実際に、自分たちだけでやっているところもあります。

③黒部市

小学校で子供が急に亡くなられた時は、AEDの操作を知らなかったことから、今では、全て女性消防団員が事業所、学校をまわり、AEDの講習をやっています。

④小矢部市

3年ほど前に全国大会に出ましたが、そのためにチームを結成して、そして練習をしました。大変人口の少ないところでは、女性たちも小型ポンプで一生懸命やっておられて、私たちも情報交換をさせてもらい、大変ありがたいなと思っています。ちびっ子たちにもこういう活動をしてもらっています。

⑤高岡市（伏木女性分団）

これはちょっと変わっているかと思いますが、女性が鳶をし、お正月に御披露しています。自治体消防70周年のときに団長の方々は見ていたけたかもしれません。私たちの中でもしているのは一分団だけでして、大変すごいなと思っています。このような活動をテレビで取り上げていただいたり、ラジオで取材していただいたりしています。

これも保育園等訪問ですね。ちびっ子の火消し隊とか、まとい隊とか、いろんな活動をしていらっしゃるの、タイアップして一緒に活動をしています。これもレンジャーです。「カジダサレンジャー」という寸劇をしていらっしゃる。

⑥高岡市（南部女性分団）

高岡です。小学校の防火教室で、煙体験、寸劇をしています。私の前の会長が高岡の会長でしたので、寸劇を自分でおつくりになって、やられていると聞いております。



⑦富山市（細入方面団本部）

ここは結構過疎地ですので、自分たちでポンプ車を動かすだけでなく、きめ細やかな女性ならではの活動もしておられます。

⑧砺波市

県で初めてできた消防団です。富山県で一番古い消防団だったので、私たちも自分たちが女性消防団をつくるとき、お習いしに伺いました。砺波市が、今度の女性消防団の全国大会に出ることになっているので、今、一生懸命練習しておられるところです。

⑨消防フェスティバル

小矢部市で女性関わっているところは、消防フェスティバルの中でのアナウンスや、会場案内をさせていただいています。また、自分たちで女性消防団が何しているか、活動を知らせたいので、パネルをつくって展示をしました。去年は、備蓄食の試食コーナーを設けて食べていただきました。皆さん、備蓄しているけど食べたことがない。消防団員も、消防署員もあまり備蓄食を食べたことがない方もいらっしゃるって、どんなふうにつくって、どんな味がするのか、どんなものがあるのかを見ることができました。

⑩ママ手作りの活動服

小矢部市の消防団の活動服と同じなのです。びっくりしまして。「どうしたの？これ。」と言いましたら、「僕、今度消防団員になるので、ママがつくってくれました。」って、手づくりだったのです。

⑪団長の協力

私たちの消防団は、団長さんがかなり協力的で、小矢部の中でも十何支部、何々町部、何々町部とあるのですが、そこから一人ずつ団員が出ていることになって、必ず女性消防団員がいる支部なのです。小矢部市の中でも17支部あります。欠員が出たと



備蓄食試食コーナー



きは、そこから自治会長さんや、団長の推薦などが、一緒になって御依頼をしていただけるシステムが確立しています。

【女性消防団員の勧誘】

ある日「分団長、よさそうな方がいらっしゃいました。入りたいそうなので、ぜひ一緒に来てください。」と、「声はかけてありますので、多分大丈夫だと思います。」と言われて、その会社の応接室へ行きました。そうしましたら構えておられて、話とは違うなと思いました。開口一番、「私は定例会のみのつもりでいますので、ほかの活動は一切出られません。」と言われるので、「いいですよ、出られるときだけ出てください。今、働いていらっしゃいますから大変ですよね。」「出られるときに出てください。」と言いました。最後に「いつまで続くかわかりません。」と言われました。「いいですよ、入ってみなくちゃ、わからないですよ。もし嫌だったら、またおっしゃってください。」と極力抑えて言いました。それで2人は入団しました。

他の分団では、皆さんのように、活動するときは必ず活動服と言われているところもあります。私はそれいいことだと思っていて、見習わなくてはいけないと思っているのですが、職場からすぐかけつけてくる者もいる、そういうことを思うと、私服でも良いと伝えています。その代わり、活動内容をわかっているのだから、それに相応しい服装でお願いする程度にとどめています。

【小矢部市消防団の活動】

①火災予防紙芝居

これは、小矢部市のキャラクターでメルギューくん、メルモモちゃんで、全国で、私たちが全国大会に出たときに同じ5位になりまして、持ち運びやすいようにと、とても軽いものです。そしてマジックでとまっているので、パンッと開いて、そして組み立てやすくなっています。そして大型の紙芝居は、自分たちでカラーコピーしたり、四分割のものを張り合わせたりしてつくって、皆さんのところへ持って行って使っています。



②火の用心のバケツ

連絡協議会でバケツや、シートを買って、自分たちでつくりました。各分団に100個ずつ。シートもお配りして、自分たちでつくっていただきました。一緒につくって、団員同士の交流ができました。



しかし中にはこんなものをつくる暇がないという分団もありました。そのような分団には、幾らでも使いたいところがありますからと返していただき、高齢者の方々、幼稚園、各事業所、公民館の祭りなどへ持って行きました。大変喜ばれました。これは100円ショップのピンクのバケツですが、3,000個ぐらい買いました。これが公民館に行っているところです。各支部のところへ回るのですが、必ずその地区の女性消防団員を紹介するようにしています。ここの地区はこの方ですよと、覚えといてくださいねって。公民館や祭り、あらゆるところへ出かけていっても、その地区の団員を大事にするということです。前は火の用心ぐらいしていたのですが、最近は女性分団員募集中を出しています。

③非常袋

女性消防団員が考えて非常袋をつくりました。実際にボコボコと入れるのではなくて、オープンに開いてみたらどうなるか、女性消防団員もいろんな思いがあるものですから、口紅が要ります、何が必要となりますって、サンタクロースの袋みたいに膨らみました。これは富山県でつくったので、貸し出しをしています。



【火災現場への出動】

小矢部市で起こったことですが、私は、平成17年に分団長になったとき、火災の時、第二の事故につながるから女性は出てこなくてよい、と言われたのですが、必ず現場を見に行きました。帽子をかぶっていると、いろいろなところへも入らせていただいて、どうやって火災を消していくのだろうか、そして焼け出された方はどうなっていくのだろうかとか、いろいろなことを経験させていただきました。看護師ということもあって、焼け出された方がパーキンソン病だった。そして薬も焼け出されてしまった。そういうときに病院へつなぐとか、少し手当てもさせていただいたりしました。ある火災のとき、「嶋田、石を拾ってこい。」と言われて、石を拾っていくと、窓ガラスに当てて窓を割り、そこへ水入っていました。火災の現場ではたくさん学ぶことが

災害の状況



あると思います。私はこれまで、消防団の中でも多くの火災現場へ出動していると自負をしております。

【富山県の出火率】

富山県は出火率が全国最小、27年連続達成して、平成3年からずっと最小ということで表彰を受けました。そして、私たち女性消防団連絡協議会の活動も、消防庁長官表彰をいただきました。

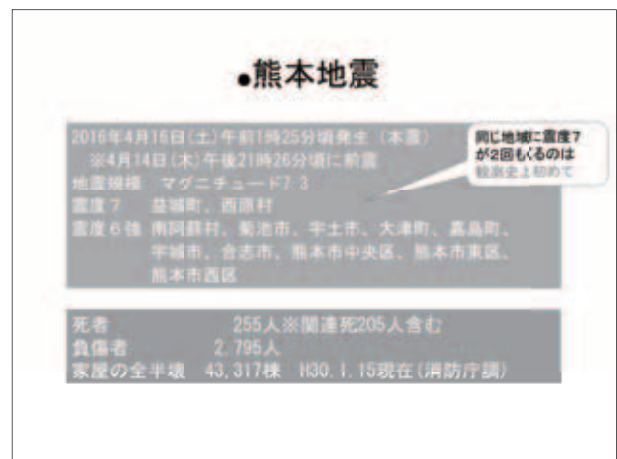
【多発する自然災害】

多発する自然災害をまとめてあるので、少しご紹介します。平成29年7月、九州北部豪雨です。平成28年の台風第10号。今は台風も抜けましたけれども、死者、行方不明、家屋の全半壊で、大変なことだったと記憶しています。それから熊本地震です。私、東北も行ってきましたけれども、熊本も行ってきました。これも大変なことで、熊本は富山県と似ていまして、地震なんか起こるはずがないという想定の中の地震でした。私たちも呉羽断層や、砺波平野の断層を抱えているので人ごとではないなと思いながら聞きました。

東日本大震災の現場も見てまいりました。大変な惨事で、毎年訪れるようにしています。最後までアナウンスをしていた方が亡くなられた庁舎は、骨組みのまま残っています。私も何回か訪れていますが、今は大分きれいになってきました。東北の方がおっしゃるのは、私たちの災害を、風化させないために、毎年来て、どういう状況になっているかを帰って伝えてほしいと言われます。

【防災士】

防災士で議員連盟がありまして、熊本へ現地視察に行ってきたのです。断層はズレるのです。熊本



城ですが、一つ一つに、青の17とか、Bの三十何番とか、全部番号がふってありました。活断層が動いたということで、水は大丈夫よ、井戸水ありますからおっしゃっておられましたけれども、それも全部枯れてしまったと聞いております。

なぜ防災士をとったか。災害の際、住民の方を火事現場から避難所へお連れしていきます。そのときに、皆さんがどのような生活になるのかを知らなかったら、安心を与えてあげられないと思ったのです。防災士の資格をとって研修をしています、消防団の活動が一番。そしていろんな研修はするけれども、何ととっても、災害へ、現場へかけつけて救助するのが自分の仕事だと思っています。

私たちの役割は、「予防」が大事です。病気も予防、火災も予防、災害も防災。自らの地域は、やっぱり自らが守る。自分自身は自分自身で守る、地域の防火防災リーダーは自覚が必要だと思っています。消防団員は自分の身を助けるためではなくて、人を助けなくてはならないので、現場でも、もし立っていられなかったり、とても走れない云々になると、人を助けられませんよと常に言っています。

【女性のための防災講座】

女性のための防災講座を引き受けて3年経ちました。皆さんへ、災害が大変なことをテレビでも新聞でもいろいろ見ておられますよねと尋ねると、「はい、大変です。いつ何が起きるかわからないので、しっかりしなくてはいけないと思います。」と言われます。70名くらいの参加者に、非常袋を用意されている方を尋ねると、1人か2人しかおられない。全然危機感がありません。富山県は大丈夫と思っておられる。地震もないし、津波もないしという言葉が返ってくるのです。自分の家族とか、娘、息子は県外へ出ていませんか。自分たちも違う土地へ行くことになりませんか。自分たちが災害のお手伝いに行くことになりませんか考えると、やっぱり備えることが必要だと思います。皆さんへお伝えするときに、5年間保存の水でなくても、1年に1回、誕生日でも正月でも良いので、非常袋を見直してくださいという話をしています。それから非常灯です。お盆が過ぎたころ、ろうそく残りませんでしたか。ゴーフルのこんな小さい缶に溶かして、短く切って立てて、そしてふたをして置いておく。それだったら、玄関でも本棚でも置いておけますよねと、そういうことも取り入れながらお話をさせていただいています。

～活動の展開事例～ 女性のための防災講座



【女性消防団員活性化広島大会】

先日、広島の活性化大会。パネルディスカッションでパネリストになってくださいと依頼がありました。議会もあるので、資料づくりが大変ですが、生活全てが訓練だと思っています。また、岡山から来てほしいとおっしゃったので、お話をしに行きました。女性消防団員の連絡協議会の研修会に、アナウンサーに来ていただいて、コミュニケーションの取り方を教えていただきました。その後ラジオに出てくださいと言われて、消防団の連絡協議会のPRをさせていただきました。

【障害者の方への対応】

障害を持つ方々から、自分たちがほんとに助かるかどうか分からない。自分たちも一緒になって防災訓練したいという申し出があったので、障害者との防災訓練を実施しました。自分自身も障害者に関わっているので、良いことだと思いました。しかし、実際にできるのかということもありました。県の課長さん、福祉課長さんに協力していただき、防災士として、皆で動いてみました。自治体、県の防災訓練に、視覚障害、聴覚障害、発達障害、精神障害、知的障害など、様々な障害を持つ方々が皆参加してくださいました。

訓練では、例えばちょっとした段差をつくってみました。視覚障害の人には何と伝えますか、「段差がありますよ」と声をかけるだけではなく、「何センチの段差がどれだけ続くか。」ということを伝えなければならないことが分かりました。聴覚障害の方で、この写真は県の聴覚障害協会の方と連絡をしているところです。発達障害、自分たちの子が施設へ行っていますが、実際に何かあったらすぐに助けられません。どんなふうに対応すればいいかわかってほしいです。大声を出さないでください、



障害者との防災訓練



障害者への対応

障害者別	救助者に声をけず・避難誘導の結果異なる方法
身体障害者	1. 身体不自由な方は、自力歩行や、車椅子・避難行動の困難。 2. 避難誘導するときは、本人の歩行行動に合わせて、無理に引っ張るようなことはしない。
身体障害者 〔車椅子・利用車〕	1. 車椅子を押して前に移動するときは、出発前に「前に進みます」と声をかけます。 2. 車椅子を押して右に曲がるときは、曲がる前に「右に曲がります」と声をかけます。 3. 車椅子で下り坂を押して下るときは、車椅子を後ろ向きにバックで、ゆっくり下る。
視覚障害者	1. 声をかけるときは、本人の前から声をかけます。声は声でかけられている事に、気付くようにする。 2. 押さえていこうときは、「何かお手伝いしましょうか」と声をかけます。 3. 左又は右で、後ろから声をかけられても、他の人同士が話していると思われ、私ではないと誤り度から対応しません。 4. ①救助者は声をかけられたが知らん顔していたと、誤解され利用したと思われる。 5. ②救助者は、声をかけられていないが、誤解され利用されたと思われる。
	4. 誘導するときは、自然語っていい言葉で、誘導者の手の上をつかんでもらいます。 5. 歩行速度は本人に合わせて、結果的には「上がります、下ります」と説明して進む。

私の子供はパニックになります。ちょっと待っててねというのではなく、はっきりと1時間待っていてね、30分待っていてねという時間を区切って言ってください。聴覚障害の方は、アナウンスでどれだけ右の通行へ行ってくださいとか、これから何々しますと言われても聞こえません。必ず書いて教えてくださいとおっしゃっています。これらをまとめたのが、この障害者への対応です。皆さんのところでも、こういうことを実施されたら、どんどん書き加えて、充実したものにしていただきたいという思いで提供しております。データが欲しい方がおられたら、資料としてデータを送りますので、県協会へ言ってくださればと思います。

聴覚障害者	1. 音声による避難誘導の指示が認識できない、視界外の危険を察知する事が困難。 2. 声をかけるときは、本人の前で自然に注意を引きつける。見えますから私だと気付きます。 3. 話す事は自由な方でも、聞こえる方がおられます。文脈を区切ってはっきり話す。
知的障害者	1. 自分で危険を判断し行動する事が困難。急激な環境変化への適応が困難。 2. 話かけるなど、気持ちを落ち着かせながら避難誘導。 3. 「他ない」「怖い」など不安になる言葉を避け、ゆっくり、安心させる言葉で話しながら誘導。 4. 不安から大声出しても、叱ったり、押さえつけないで落ち着いて待てる。
精神障害者	1. 災害発生時には精神状態が悪くなる場合がある。気持ちを落ち着かせる。 2. 他人との交流が苦手、自分からの発言は控えめ、自然な態度で声掛けをする。 3. 本人を安心させ「大丈夫ですよ」冷静さを促すよう声がけし、不安を和らげる避難誘導。
発達障害者	1. 急激な環境の変化により、精神的な問題が見られる。他の人とコミュニケーションが難しい。 2. 声掛けは「ゆっくり」「ていねいに」一言に伝えるだけでなく、本人視野に声掛けをする。 3. 説明は具体的に「ちょっと待って下さい」ではなく、「何分間待っていて下さい」など。



【炊き出し訓練】

消防団員がしなくてもいいと思われるかもしれませんが、災害訓練のときに炊き出しを行います。200人前お願いします。おにぎり400個お願いしますと言われることもあれば、おにぎりは業者に頼んだからいいと言われることもあります。お汁を頼まれると、豚汁を作ったりすることもあります。

皆さんに聞いてみると、自主防災には、炊き出し用の移動炊飯器がありました。それは、1トンのお米が炊けるんですが、炊いてみるとお米が焦げ臭くなってしまいました。炊き方はずっと強火で炊きあげるのですが、これは炊飯器にならないことがわかりました。今まで豚汁が何かに使っていたと思うのですが、御飯を炊いてみて、初めて炊けないことがわかりました。

それで、炊き出し訓練。防災会、消防分団でテントを設営してやってみました。参加者200人を想

炊き出し

炊き出し訓練

災害発生時に、避難所などで炊き出しを行う際には、安全に炊き出しを行うことが重要です。以下の手順に従って炊き出しを行います。

準備作業

- 炊き出し場所の確保
- 炊き出し器具の準備
- 炊き出し場所の清掃
- 炊き出し場所の安全確認

炊き出しの手順

- 炊き出し場所の確保
- 炊き出し器具の準備
- 炊き出し場所の清掃
- 炊き出し場所の安全確認
- 炊き出しの開始
- 炊き出しの完了

炊き出しの注意

- 炊き出し場所の安全確認
- 炊き出し器具の安全確認
- 炊き出し場所の清掃
- 炊き出し場所の安全確認

飯汁の作り方(防災対策)		作り方
1人前(200人分)		1. 鍋を熱くする。
材料(200人分)		2. 鍋にすべての野菜と水を入れ、火にかける。沸騰したらアクを丁寧に取り、弱火にする。
豚肉……400g	ごぼう……14本	3. 10分ほど煮た後、豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
大根……8本	人参……10本	4. 野菜を煮ている間に、豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
アスパラ……10本	きんぴら……500g	5. 煮た豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
玉ねぎ……2.5kg	油揚げ……4kg	6. 煮た豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
味噌……40本	水……40リットル(200人分)	7. 煮た豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
味噌……2.5kg	本塩……100g	8. 煮た豚肉を箸でつまみ、柔らかく煮る。
野菜の切り方		行進時間(20人分/鍋)
豚……3cm幅に切る	ごぼう……(おにぎり用)に切る	材料の量(1人前)から計算した量……400g/200人分
大根……1cm幅に切る	人参……(おにぎり用)に切る	鍋に入れた量の倍……200g/鍋
アスパラ……1cm幅に切る	きんぴら……(おにぎり用)に切る	煮た量の倍から1.5倍……200g/鍋
玉ねぎ……(おにぎり用)に切る	油揚げ……(おにぎり用)に切る	合計……1000g/20人分
味噌……(おにぎり用)に切る	本塩……(おにぎり用)に切る	炊き上がった量……2000g/20人分

定する。おにぎりを400個つくる。米はどれだけ要るのか、全然わかっておられないところもありました。そんなことを考えたこともない。しかし、炊き出しをするとなったら注文しなくてはなりません。一体全体どういうふうに行っているのかということで、データを残そうと思ったのです。

おにぎりは、米1トンで約320個つくれます。25分ぐらいでこれは炊き上がったけど、焦げた。コンビニのおにぎりって何グラムか御存じですか。110グラムです。

新潟へ行ったときに、うどんを持っていったのですが、みんなあったかいものとか汁ものとか持ってきましたかとおっしゃいました。

体育館の中におられた方にお水を勧めても飲まれない。トイレに行かなくちゃいけないので、いいですとおっしゃるのです。トイレを見に行きましたら、ブリキのバケツに全部水が入ってて、自分たちで流すようになってる。これでは健常者以外の方は、高齢者、それから障害者の方は無理かなと思いました。そのときに考えたのが、汁だくさんの豚汁です。それからおにぎりは、いちいち若者対応、それから子供対応してられない。100グラムのおにぎりをつくろうと思いました。100グラムのおにぎりを32個つくるのに、1升が100グラム32個だった。そして4人で7分間かかりました。豚汁を久々につくってみました。そしたら、分団長、すみません。これ200人前分をそのまま25人前にしていました。何か具だくさんだったんです。このままでいくよといって、これを半量にしていきたい。それから、ごぼうはかたくてなかなか煮えなかった。だから、ささがきでも調子悪いなと思ったので、抜いていただきたいなと思っています。200ccの汁に80グラムの具材。これだと汁だくさんになって、お年寄りの方でも飲んでいただけるかなと。水分補給です。そういうことを思いました。

【子供たちのお泊まり防災研修】

それから、子供のためのお泊まり防災研修会。廃園になった幼稚園があったので、してみました。そして、備蓄食ですが、食べたことのない子供たちばかりです。新聞紙でスリッパをつくっています。これは濡れると使い勝手が悪いものですから、あまり奨励はしていませんが、子供たちの防災意識を高めるには良い授業かと思います。市にもお願いをしたら、簡易テントを持ってきてくれて、これが1人簡易トイレ完成品です。消防団員が3名

と、お母さんたちにお手伝いしていただきましたが、上手でした。団員が少ないところは、消防署員、訪問先の幼稚園の先生、父兄の皆さんにどんどん参加してもらうのが良いと思っています。

この研修の時、お腹がすいたと言われたので、ビスコを配りますと言ったら、ウワッと来たのです。熊本へ行ったとき、現地の防災士からも聞きましたが、熊本もテレビに映らないだけで、けんかがすごかったそうです。怒号が飛んで、なぜ俺だけが後なんだとか、うるさいとか。テレビには映らない取っ



組み合いのけんかもあったそうです。その中で「モラルに則って生活しましょう。」と1日に十数回叫んだとその防災士は言っていました。それを受けて考えたのが、リーダーを決めるということです。「配りますから、リーダー誰。」と言ったら、1人の男の子が手を挙げて、そしてもらいに来てくれました。ビスコを配りました。そして1かけずつですけれども配りました。ちゃんと並んで取ってくれました。今度は、さっき火を起こしたお湯を沸かして備蓄食を食べています。今の備蓄食はいろんなものができていて、アレルギー対応もします。一番喜んだのは野菜カレー。カレーはすごく喜びました。今は100人分ぐらいの炊き込み御飯、白い御飯、お湯だけで、8リットルだけで、熱湯で炊ける、段ボールで炊けるのが出ています。

【防火啓発あんどん作り】

啓発活動ですけれども、今度、滋賀大会にこれを持っていくつもりでいます。定例会しか出られませんでしたと言った団員が子供を連れて出てきてくれました。私は副分団長や部長に、「幹部は、今日盛り上がりましたねというのではなくて、盛り上げる役目。」「楽しかったですねじゃなくて、楽しませる役目。」「今日はためになりましたねじゃなくて、ためになるように活動していくのが役目。」だと話をしています。

【合同英語研修】

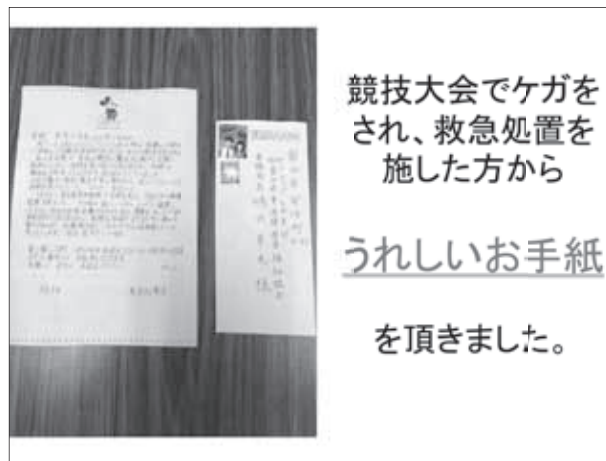
今度始めたばかりの団員・署員の合同英語研修です。これも提案をしました。大変外国人が多くなりました。400人も外国人がいるということで、英語の先生にどうですかと聞くと、「あなたたちもボランティアですから、私も無報酬で行きます。」と仰ってくださって、現在月に1回から2回、英語の



勉強をしています。このことも富山県では初めてだろうと思いますが、やっぱり幹部としてはいろんなことを提案する。いろんなことを見て、聞いてきて、そして提案をして、皆さんに受け入れてもらって、整えていくことを活動の広がりとしています。

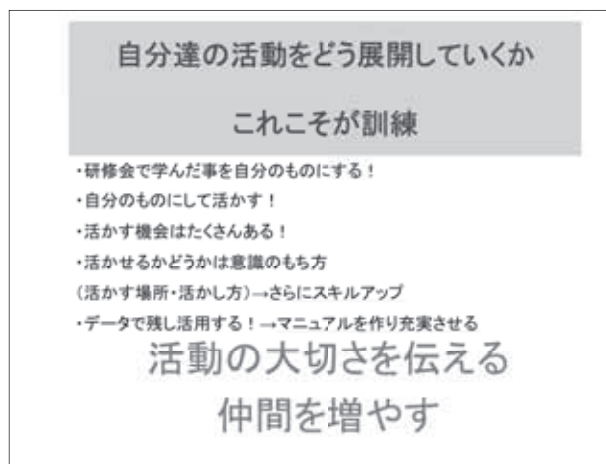
【うれしいお手紙】

この間、競技大会でけがされた方からお手紙が来たのです。障害のある方だったのですが、壁のところで倒れ、肘が下になった。三角巾を持っていればいいのですが、買い物袋しかなかった。2つ穴をあけて、手を通して、首からつった。そしてダンボールで固定をしました。実を言いますと、自分自身が小学校2年のとき、肘関節部複雑骨折をして、身体障害者7級の手帳を持っています。こういうことがわかって処置をしたら、大変その対応がよかったので、痛みも少なくてよかったというお手紙をいただきました。



【自分たちの活動をどう展開していくか】

自分たちの活動をどう展開していくか、これこそが訓練だと思っています。今日の研修会の話、よかったね。いや、今日は私たちのほうがまだよかったわって、いろいろな御意見があると思います。これをどう生かしていくかとなると、そのままにしない。自分たちの職場で話しをしよう。そして地区で話しをしよう。そして自分たちの家族で話しをしようという展開、広がりを見せてほしいと思います。



話す機会はたくさんあります。スキルアップしていただいて、必ずデータで残す。出初式へ行ったり、いろんなところ行くのに忘れ物をした。その後は必ず持っていくものを書き出して、ラミネートして置いておく。誰もが見ても持ってこられるという活動の仕方をしています。団員は何かミスをすれば、それに対してどう対応していくかという対応が訓練だと、また分団長に言われるなどと思って、先に回ってやっていると思います。

【連携と仲間づくり】

消防団員とも団長さんとも仲良く。この間も焼き肉を食べに行きました。署員、団員さん、必ず仲よくする。そしてお願いするときはお願いをする。協力も100%できるようにするのが連携と仲間づくり。家族の理解を大切にします。出会った仲間も大切だと思っています。

連携 と 仲間作り

- 自治体、消防団、地域等々連携をとる
(団員の特性を活かす)⇒職業を活かす
- 出会った仲間は大切な情報網・協力者
- 家族の理解と協力を得る
(活動を知らせる)
- 仲間に大切さと楽しさを伝える
(自分自身が楽しく活動する)

【家族へ活動を伝える】

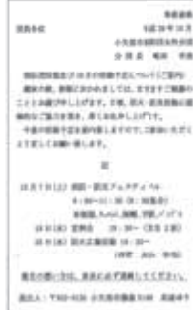
家族へ封書ではなくて、はがきでお知らせをします。お舅さん、旦那さんが、6月15日定例会なんだ。今日は訓練なんだ。これをわかるようにはがきで出しています。このことをしてくれているのも団員です。常に嫌とは言わず、私にちゃんと見せて、そしてよしというので出して、枚数にするとすごい枚数になっていますが、これがかなり家族には理解が得られているだろうと思っています。皆

で、冬にお楽しみ会した時、お家へシクラメンの鉢を持たせました。そのときにマスコットをつけて、これを玄関に置いていただくと、このうちの嫁さんは消防団員なんだ、この娘さんは消防団員なんだ、活動してるんだとわかるようにとお願いをして持ってってもらいます。

～ 家族へ活動を伝える ～



(封筒書面ではなくはがきで送付)



【社会状況・環境の変化に対応する】

社会状況が変化しています。それは皆さんがよく御存じだと思います。消防団員の男性の方も自分の地に勤めていない。市外に出ていっている。呼んでもすぐに来られない。火災があってもすぐに来られない状況がある。機能別や、いろいろな制度を利用して、すぐに活動してくださる方を準備していただいていると思います。女性消防団の活動の協力会をつくっておられるところがあります。私も

退団した人に声をかけて、何かあったときに協力してくれないかと、日中に出る隊員が少ないんだわという話をしました。わかりましたよと。協力しますと言うので、今、英語研修一緒に来てくれます。今後紙芝居ぐらいには来てほしいかなと思っています。私たちは女性消防団員。強いリーダーを

社会状況・環境の変化に対応する

- | 〈変化〉 | 〈対応〉 |
|--------------|----------------------------|
| ● 少子高齢化・過疎化 | ● できることをする |
| ● 被用者の増加 | ● 負担を感じさせない |
| ● 勤務先の住所地が市外 | ● 協力団体・組織づくり
(女性消防協会 等) |
| ● コミュニティの変化 | |

目指しています。自分が助かるだけじゃなくて、人を助ける役目がある。たとえ訓練であろうが何であろうが、それに対して体力を保ち、知識もしっかりと備えていくことは大事だと。それが強いリーダーにつながっていくのではないかなと思っています。

【女性消防団活動報告書】

先ほど話をした後の活動報告書。これは2冊目です。どんどんバージョンアップしていけばいいなと思いますし、この間話したねでは済まない。これを見ると、ここへ連絡して訪問しようと。お互いに富山県内で視察をしています。

【富山県女性消防団バッジ】

これが知事から直々と予算をいただいて、富山県女性消防団員バッジをつくりました。このことは、多分、全国で初めてじゃないかなと思ってまして、大変うれしく、そして元消防庁長官だけあるなと。消防に大変熱い想いがあります。私たちが考えたデザインです。それこそ立山を入れるとか、いろいろ大変なことでした。でも、最初に皆さんのリーダーから意見を聞いて、大きさも考えて、このバッジをつくりました。これはひとつ私たちの誇りであります。

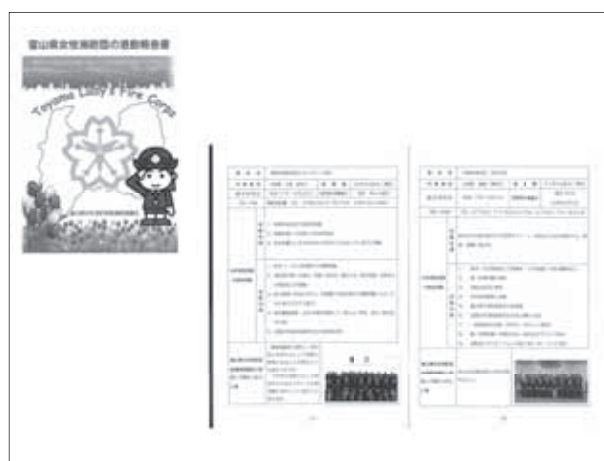
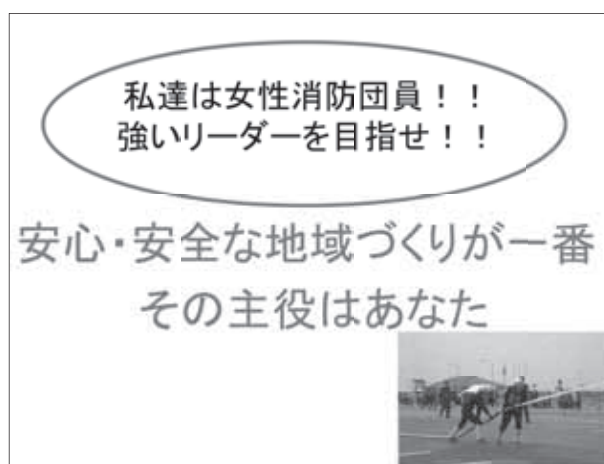
子供たちも含めて、あなた自身が楽しく活動をしていただきたいと思っています。

【富山県のPR】

全国消防操法大会が10月19日にあります。知事御自慢の地域防災センターで開催することになっておりますので、ぜひとも皆様お越しいただければと思っております。お待ちしております。

最後に私たち小矢部市の女性消防団員が全国女性消防操法大会へ出場した時のDVDをご紹介しますと思います。私たちは全くホースを持ったことのないメンバーでした。その時のことをDVDで少し見ていただきたいと思います。

～全国女性消防操法大会出場時のDVD視聴後終了～



3 事例発表

姫路市女性消防団員による活動事例発表 ～歌にのせて心配蘇生法を市民へ伝える～

姫路市姫路東消防団 団長

坂本 信嘉氏

※パワーポイント資料掲載 P42～P43



【はじめに】

こんにちは、私は姫路東消防団団長の坂本です。彼女たちが姫路市の消防団の女性消防団員です。本日は姫路東消防団5名飾磨消防団5名が参加させていただいております。

【姫路市の概要】

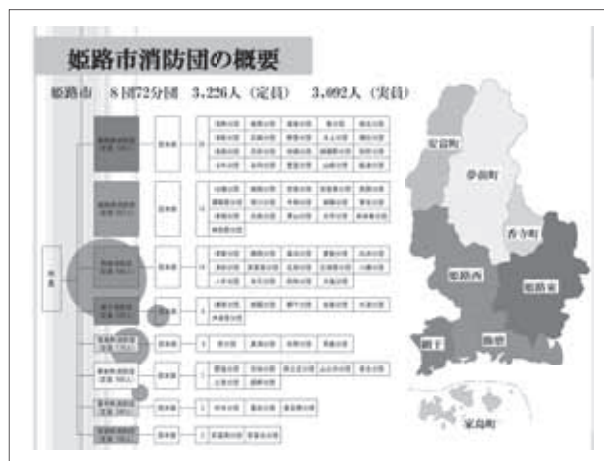
姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口約53万人、面積は534km²で、平成18年に周辺の4町と合併し、南北に非常に長い市となりました。南は、瀬戸内海に浮かぶ家島諸島、海岸線には工業地帯、姫路駅周辺は繁華街と世界文化遺産姫路城があり、北部は山岳地帯という、非常に多種多様な地域からなっています。

【姫路市の消防団について】

その中にある消防団も非常に多種多様で、8団からなり、各団の分団数も2分団から20分団まであり、さまざまな規模の消防団となっています。定数は3,226人、現在の実員は3,092人です。

【姫路市の女性消防団員の活動】

そんな姫路市の消防団に、女性消防団員が誕生したのは、平成24年3月1日です。各消防団の定数等の関係で、女性がいる消防団は、姫路東、姫路西、飾磨の3消防団で、現在は、姫路東消防団に5人、姫路西消防団に4人、飾磨消防団に6人、あわせて15人が在籍しています。消防団の主な年間行事は、この表のように、出初式に始まり、火災予防運動や水防訓練、操法大会や総合防災訓練、年末火災特別警戒などの主要行事に女性消防団員も参加し、それ以外にも、地域の防災訓練や普通救命講習



などにも参加しています。最近、特に力を入れているのが、消防団のPR活動です。姫路市では、平成27年度から「スマート消防団にズームイン!」という、市民の方に消防団を体験してもらおうという活動を行っており、女性団員たちもその一翼を担っています。一般の方から参加を募り、老若男女問わず応募があります。参加者が一番楽しみにされているのが放水体験です。消防団員から放水の仕方を教わり、女性も実際に放水をして、非常に喜んでおられました。27年度には、女性団員が初めての簡単な寸劇をしながら普通救命講習を行ったのですが、参加された方から非常に好評で、女性団員もうれしかったのと同時に、自分たちもできるんだという自信にもなったようです。去年は、姫路城南側の大手前公園で行われた姫路陶器市というイベントのステージで、119番通報やCPRのやり方を『夢あるまち姫路』の替え歌にのせて分かりやすく説明する劇と、消防団のPRを行いました。みんなが集まって練習する機会があまりなく、不安もありましたが、一人一人が一生懸命練習したので、多くの人が集まり緊張しながらも、一定の成果をあげることができました。彼女たちは、災害現場に行き消火活動をするのではないですが、後方支援など縁の下での力持ちとして消防団を支えるとともに、消防団の活性化のために、このように前に出て、消防団のPRとともに、消防団の活動は女性にもできるよということを、どんどん発信していきたいと頑張ってくれています。

年間の主な活動・行事予定

予定月	活動・行事内容
1月	各団・各分団出初式 姫路市消防出初式 文化財防火デー総合訓練
3月	春季火災予防運動
4月	新入団員教養訓練
5月～6月	水防訓練
5月～翌3月	応急手当指導員養成講習(隔年) 消防団幹部視察研修 中播磨地区消防操法大会(隔年)
7月	姫路市総合防災訓練
9月	新入団員教養訓練
10月	熱消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動
11月	消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

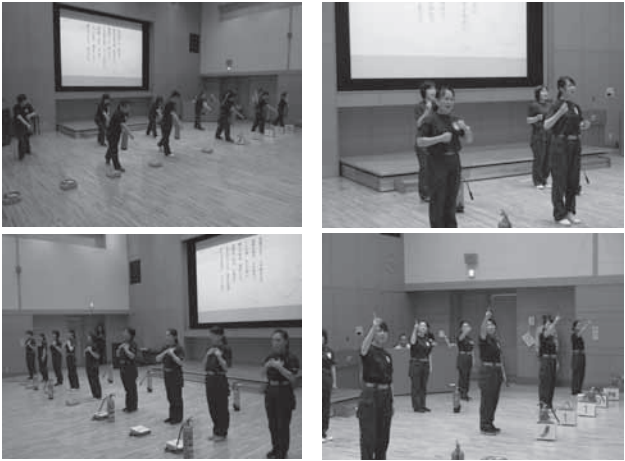
放水体験の様子



女性消防団員による普通救命講習



歌にのせて心肺蘇生法を披露



夢あるまち姫路 ～消防団 Ver～

② 地震の時には 慌てずに

落ち着き頭を 守ってください

安全の為に 第一歩

自分の体は 自分で守ろう

みんな声をかけて 助け合おう

大事な物は まとめておこう

一人一人の 命大事に

① 火災の時には 初期消火

あなたは消火器 使えますか

黄色のピンに 指をかけて

上へと引き抜き ホースをはずそう

火の根もと向け はく様に

レバーを握り 噴射をしよう

明日につながる 幸せのため

③ 突然そばで 人が倒れたら

意識を確認 人を集めて

119番 AED探し

頼んで呼吸 確認しよう

意識ない時は 心肺蘇生

あなたもできる 救命の連鎖

ひとつの勇気が つなぐ命に

資 料

- 1 講演、活動事例発表資料
- 2 グループディスカッション結果
- 3 アンケート調査結果

講演・事例発表資料

事例発表①

『女性消防団員として活動が続けかがやくために』

嶋田 幸恵氏（富山県小矢部市消防団分団長）



— 自己紹介 —

- ・富山県消防協会理事
- ・富山県女性消防団員連絡協議会会長
- ・富山県小矢部市消防団 女性分団 分団長
- ・小矢部市議会議員（H14～）
- ・看護師
- ・ケアマネジャー
- ・防災士

消防団へ入団のきっかけは？

- 渋々
- なんとなく
- 人からすすめられて
- 自分自身の思いで



消防団員 手帳



3.公務員の消防団への加入促進

・女性の消防団への加入促進

[illegible]





災害の状況



区分 年	出火件数			出火率		
	富山県	順位	数	富山県	順位	率
平成16年	304	③	60,387	2.7	①	4.8
平成17年	275	②	57,460	2.5	①	4.5
平成18年	213	①	53,276	1.9	①	4.2
平成19年	253	①	54,582	2.3	①	4.3
平成20年	228	①	52,394	2.1	①	4.1
平成21年	223	②	51,139	2.0	①	4.0
平成22年	221	①	46,820	2.0	①	3.7
平成23年	210	②	50,006	1.9	①	3.9
平成24年	218	②	44,189	2.0	①	3.5
平成25年	240	②	48,095	2.2	①	3.6
平成26年	219	②	43,741	2.0	①	3.1
平成27年	188	②	39,111	1.7	①	3.1
平成28年	195	①	36,831	1.8	①	2.9

『出火率』: 人口1万人当たりの出火件数
『死者発生率』: 人口10万人当たりの死者数

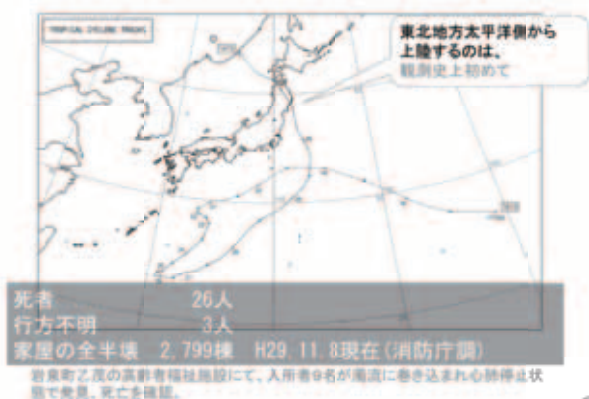


**富山県は
出火率全国最小
27年連続達成!!**

多発する自然災害



平成28年台風10号



11

●熊本地震

2016年4月16日(土)午前1時25分頃発生(本震)
※4月14日(木)午後21時26分頃に前震

地震規模 マグニチュード7.3

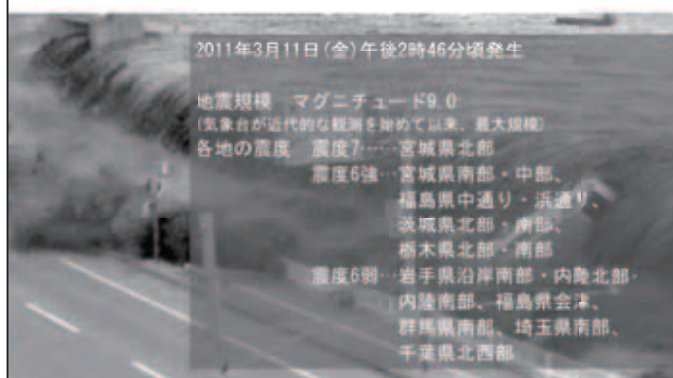
震度7 益城町、西原村

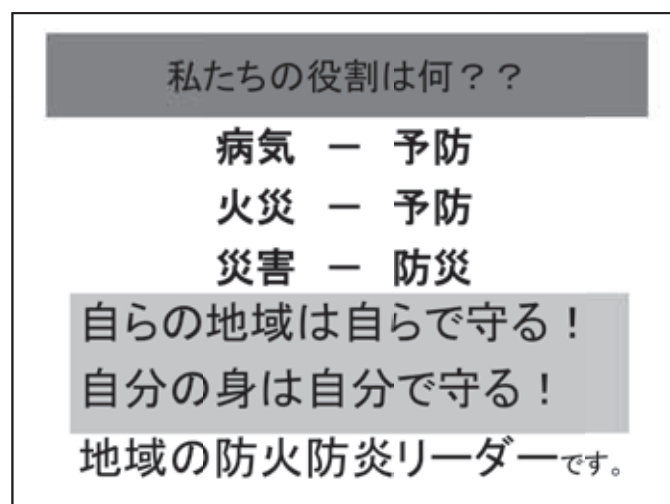
震度6強 南阿蘇村、菊池市、宇土市、大津町、嘉島町、宇城市、合志市、熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区

同じ地域に震度7が2回もくるのは観測史上初めて

死者 255人※関連死205人含む
負傷者 2,795人
家屋の全半壊 43,317棟 H30.1.15現在(消防庁調)

●東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)







障害者への対応	
障害種別	救助者に声掛け・避難誘導の効果的な方法
身体障害者	1. 身体不自由な方は、自力歩行や、素早い避難行動が困難。 2. 避難誘導するときは、本人の歩行行動に合わせて、無理に引っ張るようなことはしない。
身体障害者 〔車椅子利用者〕	1. 車椅子を押して前に移動するときは、出発前に「前に動きます」と声をかけをする。 2. 車椅子を押して右に曲がるときは、曲がる前に「右に曲がります」と声をかけをする。 3. 車椅子で下り坂を押して下るときは、車椅子を後ろ向きにバックで、ゆっくり下る。
視覚障害者	1. 声をかけるとき、本人の前から声をかける。既に声をかけている事に、気づくようにする。 2. 固執しているときは、「何故お手伝いをしようか」と声をかける。 3. 左又は右や、後ろから声をかけられても、他の人同士が話をしていると思い、軌道ではないと思えますから対応しません。 ①救助者に声をかけたが知らん顔していたと、誤解され差別したと思われる。 ②被災者は、声をかけてもらえなかったと、誤解され差別されたと思われる。 4. 誘導するときは、白杖持っていない側で、誘導者の肩の上をつかんでもらいます。 5. 歩行速度は本人に合わせて、段差などは「上がります、下がります」と説明して進む。

聴覚障害者	1. 音声による避難誘導の指示が認識出来ない。視界外の危険を察知する事が困難。 2. 声をかけるときは、本人の前で合図し注意を引きつける。見えますから私だと気付きます。 3. 話す事が不自由な方でも、聞こえる方がおられます。文節を区切ってはっきり話す。
知的障害者	1. 自分で危険を判断し行動する事が困難。急激な環境変化への適応が困難。 2. 話しかけるなど、気持ちを落ち着かせながら避難誘導。 3. 「危ない」「怖い」など不安になる言葉を避け、ゆっくり、安心させる言葉で話しながら誘導。 4. 不安から大声出しても、叱ったり、押さえつけずに落ち着いて接する。
精神障害者	1. 災害発生時には精神的ストレスがかかる場合がある。気持ちを落ち着かせる。 2. 他人との交流が苦手、自分からの発言は控えめ、自然な態度で声掛けをする。 3. 本人を安心させ「大丈夫ですよ」冷静さを保つよう声がけし、不安を和らげる避難誘導。
発達障害者	1. 急激な環境の変化により、精神的な動揺が見られる。他の人とコミュニケーションが難しい。 2. 声掛けは「ゆっくり」「いいえいいえ」一斉に伝えるだけでなく、本人個別に声掛ける。 3. 説明は具体的に「ちょっと待って下さい」ではなく、「何分間待っていて下さい」など。

炊き出し

炊き出し訓練

炊き出し訓練は、炊き出しをするための必要な知識・技術を身につけるための訓練です。炊き出しの中心となるのは、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの準備は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの進行は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの完了は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。

炊き出しの準備は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの進行は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの完了は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。

炊き出しの準備は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの進行は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。炊き出しの完了は、炊き出しの準備・炊き出しの進行・炊き出しの完了です。

豚汁の作り方(防災対策)

2025年2月23日

材料(200人分)

豚骨……4キロ	ごぼう……14本
大豆……7本	人参……13本
さつまいも……2.8キロ	蓮子……4キロ
五穀……2.8キロ	白豆……4キロ
味噌……40本	水……40リットル(200人分)
味噌……2.28キロ	本塩……100グラム

野菜の切り方

肉……3cm幅に切る	ごぼう……さつまいもは斜めに切る
大豆……1cm幅に切る 厚さ3mm	人参……半長切 厚さ3mm
さつまいも……横切 1cm幅	蓮子……口大
白豆……ザク切	五穀……半分に縦割り、それを横切
味噌……5cm幅 1cm	

作り方

1. 野菜を切る。
2. 鍋にすべての野菜と水を入れ、強火にかける。沸騰したら7分を丁寧に取って、弱火にする。
3. 味噌を半量だけ煮入れ、野菜が柔らかくなるまで弱火で煮る。
4. 野菜を煮ている間に、豚肉を湯通ししておく。(お湯を沸かして火を止めたところへ肉を入れ1分程度でザルに上げる。)
5. 野菜が柔らかくなった豚肉を入れ、残りの味噌と煮入れ、ほんだしを煮入れる。
6. 肉に火が通っていれば火をとめる。

行程時間25人分/鍋)

材料の煮いから切り終わるまで……45分/200人分
 鍋に入れ最初の沸騰まで……25分/鍋
 最初の沸騰から仕上げまで……25分/鍋
 合計 1時間30分

仕上がった総重量……7キロ/25人分
 280グラム/1人

「食の防災」

食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。

食料の備蓄、そのポイント

- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。
- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。
- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。

食料の備蓄、そのポイント

- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。
- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。
- ・食料の備蓄は、いざという時の命を守るために、最も重要なことです。

～ 子供のためのお泊り防災研修 ～



防火啓発あんどん作り

団員・署員の合同英語研修



競技大会でケガを
され、救急処置を
施した方から

うれしいお手紙

を頂きました。

自分達の活動をどう展開していくか

これこそが訓練

- ・研修会で学んだ事を自分のものにする！
- ・自分のものにして活かす！
- ・活かす機会はたくさんある！
- ・活かせるかどうかは意識の持ち方
- (活かす場所・活かし方) → さらにスキルアップ
- ・データで残し活用する！ → マニュアルを作り充実させる

活動の大切さを伝える

仲間を増やす

連携 と 仲間作り

- 自治体、消防団、地域等々連携をとる
(団員の特性を活かす) ⇒ 職業を活かす
- 出会った仲間は大切な情報網・協力者
- 家族の理解と協力を得る
(活動を知らせる)
- 仲間に大切さと楽しさを伝える
(自分自身が楽しく活動する)

家族へ活動を伝える

[illegible]

社会状況・環境の変化に対応する

〈対応〉

- 少子高齢化・過疎化
- 被用者の増加
- 勤務先の住所地が市外
- コミュニティの変化
- できることをする
- 負担を感じさせない
- 協力団体・組織づくり
(女性消防協会等)

■ 本文曾獲教育部社會發展司補助

- 市女性防犯協会 組織結成理由について

- [illegible]

安心・安全な地域づくりが一番
その主役はあなた



富山県女性消防団員バッチ





最後に・・・


富山県


のPRですが・・・

TOYAMA 2018
すべては、守るべきひとのために

26回 全国
消防操法大会

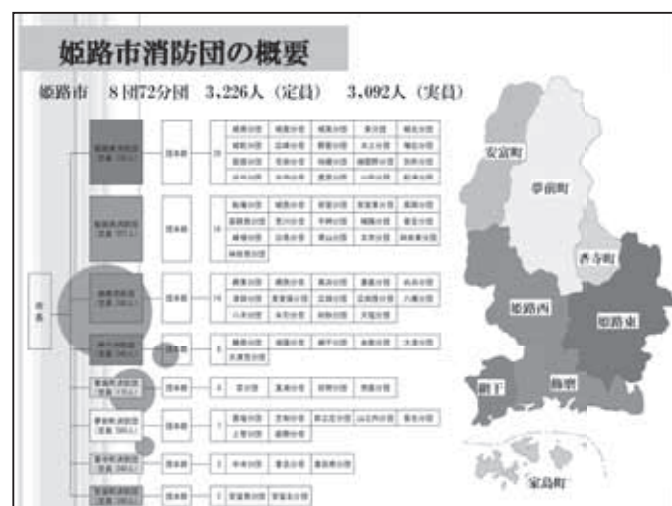
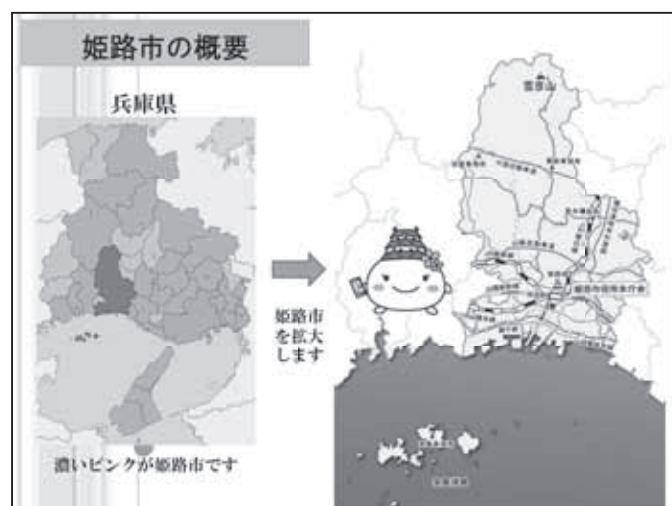
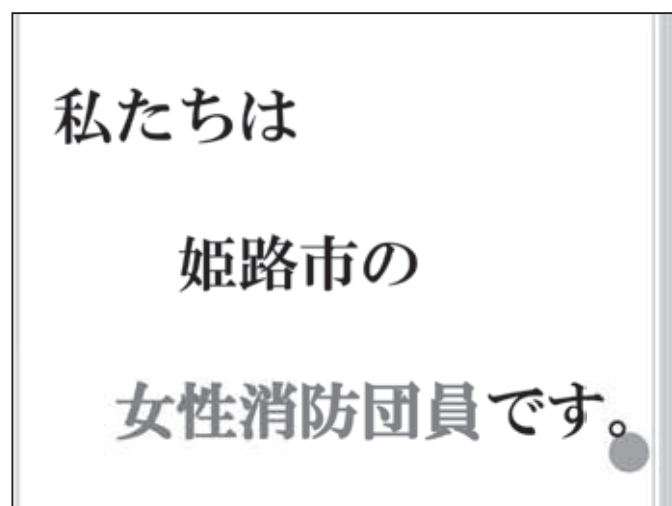
平成30年 10/19〇 富山県広域
消防防災センター

“富山県で熱い戦いを”

事例発表②

『姫路市女性消防団員による活動事例発表 ～ 歌にのせて心肺蘇生法を市民へ伝える ～』

坂本 信嘉氏（姫路市姫路東消防団団長）



年間の主な活動・行事予定

予定月	活動・行事内容
1月	各団・各分団出初式 姫路市消防出初式
3月	文化財防火デー総合訓練
4月	春季火災予防運動
5月～6月	新入団員教養訓練
5月～翌3月	水防訓練
7月	応急手当指導員養成講習(隔年)
9月	消防団幹部視察研修
9月	中播磨地区消防操法大会(隔年)
10月	姫路市総合防災訓練
11月	新入団員教養訓練
11月	県消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動
11月	消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

放水体験の様子



女性消防団員による普通救命講習



歌にのせて心肺蘇生法を披露



グループディスカッション結果

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

1 ねらい

地域の課題に応じた女性消防団員ならではの活動について、意見交換を行い、女性消防団員活動の意義や役割への理解をさらに深め、今後の女性消防団における活動の活性化に活かす。

2 事前調査結果（概要）

（1）女性消防団員が地域で担っている取り組み例

- ・ 広報活動、防火指導（高齢者宅、幼稚園など）
- ・ 災害時の女性やこども、高齢者への対応
- ・ 啓発劇、広報劇
- ・ 市民救命士の普及、救急講習、AED講習
- ・ 避難所運営訓練（HUG）、研修
- ・ 小学生防災キャンプで啓発 等



（2）主な課題

①地域の課題

- ・ 地域住民の災害に対する危機感が低い。
- ・ 高齢者増加により迅速な避難が難しい。
- ・ 地域コミュニティが希薄になっている。消防団が再生を図る必要がある。
- ・ 一人暮らしのお年寄りなどの住民の情報不足
- ・ 民生委員や防災コミュニティとの情報交換が個人情報の関係で難しい。
- ・ 避難所の運営や支援方法が明確ではない。

②団員の課題

- ・ 平日に活動できる人が少ない。女性団員が減り活動の負担が増えてきた。
- ・ 女性団員が各分団付きなので、集まって活動する機会がない。
- ・ 女性団員の役割・活動が明確になっていない。男女を区別して活動はしていない。
- ・ 本部付なので、地域での役割はない 等。



テーマ 1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(1) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・避難所対応 女性は、気遣い（女性ならではの問題対応、子供をあやすなど）が出来る。同じ言葉でも表情や言葉遣いで、男性と女性では伝わり方が違う。AED が必要な方や救助が必要な方への配慮。地域との繋がりや情報が得やすい。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・女性の市議会議員や市の職員と消防が繋がることで災害時などの連携がスムーズになる。 ・地域の方にも防災の意識をしてもらうため、子供が小さい頃から意識付けを行う。 ・母子共に講習を受けることにより、子供をどう守るかの意識づけを行う。

テーマ 1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(2) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・AED 講習（話しかけやすい） ・避難所対応
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・避難所運営を想定した女性消防団員の訓練開催

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(3) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 基礎的な部分みなさんに周知していただくための取り組みが主なものとして意見が多い。広報、啓発。 ・ 障害者や子供連れを対象の防災訓練などは、きめ細やかな女性目線で活動しやすい。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 団員の増員 ・ 団付けの女性団員は本部付け同様、広報や啓発活動をするために横との連携を深める。 ・ 本部づけは、男性中心の地域分団や地域の他の活動団体との連携を深める。 ・ 連携することで、地域に貢献できる活動に繋がっていく。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(4) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	①「女性ならではの」という表現がそもそも良くない。 ・ 男性と一緒に活動をしている人もいる（意識の違い）。 ・ 広報活動の取り組み。（広報として入団した人もいる） ②女性だから良かった経験 ・ 妊婦さん等への対応。 ・ 災害時に「言いやすい、聞きやすい」と思って貰える。 ・ パイプ役になれる。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 男女に差を付けず、活動していくべき。 ・ 市及び分団等によって活動に差がありすぎる。 ・ 消防団手帳を持たせて欲しい。 ・ 災害時の現場体験がほぼ無いのもっと経験が必要。 ☆活動の幅を団員に選択させてもらえると良い（現場班、広報班等、役割を分ける等） ☆「女性」という一括りにするのではなく役割を分ける。 ※個性、意向

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(5) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 地域の祭に参加（広報活動）。 ・ 出初式等、消防行事でのアナウンス、お手伝い。 ・ 応急手当普及啓発活動 ・ 防火パトロール（乾燥時期、年末警戒等）
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 勧誘。 ・ SNS 等での発信。 ・ 各分団の女性団員での活動。 ・ 地域によって活動が違うので、他市でも取り入れたい。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(6) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	良さを伝える活動として 「女性だからできる活動」 ・ CPR 講習時には、女性だと聞きやすいと言われた。 ・ 男性には聞きにくい質問が聞きやすい。 ・ 場が和む、親しみやすい。 ・ 保育園、小学校等の施設での紙芝居。 ・ 子供の帰宅時にあわせて、生の女性の声で火災予防週間時に広報活動。（駅で制服を着て立つ） ・ ティッシュ配りをして広報している。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 少ない人数で誰でもできる活動を考えていく必要がある。 ※定員などや育児、家事の負担が多いので。 ・ 横の市の女性消防団との繋がりを大事にして情報交換をする。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(7) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 幼稚園や小学校で救急救命講習。(AED 等) ・ 歌に合わせて、火災予防などを呼びかける。 (子どもや高齢者に覚えてもらいやすいのでは。) ・ 各地区の行事に出席し、呼びかける。 ・ 野焼き注意呼びかけを、野焼きのシーズン前後に呼びかけ。 ・ 広報活動。 ☆「女性ならではの」は、老若男女問わず、親しみやすさ。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 女性消防団の存在を知って貰う。 ・ 活動内容を知って貰う。 ・ 依頼をいただけるくらい、周囲に女性消防団の活動を理解してもらうべき。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(8) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 女性のよさを活かす。 コミュニケーション力を活かした広報活動、小、中、高校に市民救命士講習に行く(平日なので、男性は行けない)。幼稚園、保育園、小学校へ防災指導に行く。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 劇を行う。 (AED の使い方、年齢に合った話にする。4, 5のストーリーを用意している。) ・ 消防団の活動を新聞にする。 ・ 紙芝居をする。 ・ 地域の茶話会や近所の方との世間話。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(9) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 月一回定例会。 ・ ショッピングモールや学校へ啓発活動。 ・ デリケートな部分を男性に代わり説明する。 ・ 小学生キャンプ（段ボールテント） ・ 女性団員を増やす宣伝（イベントやお祭りの補助）。
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 小学生キャンプの炊き出しを乾パン等に。 ・ HUG ゲームを取り入れる。 ・ 高齢者の防火訓練。 ・ 女性団員の定員を増やす。 ・ 日中動ける方を消防団へ。

テーマ1

「地域に貢献する女性消防団の活動」

(10) 班

【まとめ】

1	地域に貢献できる女性ならではの活動とはどのような取り組みか？ (考え方や活動内容など)	・ 消防団に女性の団があることについて認知が少ない。 ・ まだ女性団としての活動は行えていない。 ・ 女性団としての活動はするが、男性団員と同じような活動をしていなくても良いと言われるが、実際はどうしてよいのか分からない。 ・ 盆踊りで子ども向けに紙芝居、クイズを行った。 ・ 女性団だからというのをなくす、女性の中でも消火活動もしたい人がいる。(線引きをしない。)
2	1の活動を進めていくためにはどのようなことに取り組むべきか。	・ 商業施設などで声かけPR、チラシを置かせてもらう。市の広報に出す。パネルを置かせてもらう。 ・ 色々な意見を聞いてできることをする。 ・ 他団と繋がりをつくり、一緒に活動したりする許可が欲しい(他の活動を取り入れ共有、連携したい)。 ・ 女性ならではの広報活動もするが、消火活動、災害の時の手助けを行いたい人もいるので、それも認めてほしい。

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」



1 ねらい

女性消防団員確保に関する活動PRや団員勧誘などの様々な方法について意見交換することにより女性消防団員確保方法の全体を把握し、今後の効果的な団員確保の取り組みに活かしていく。

2 事前調査結果（概要）

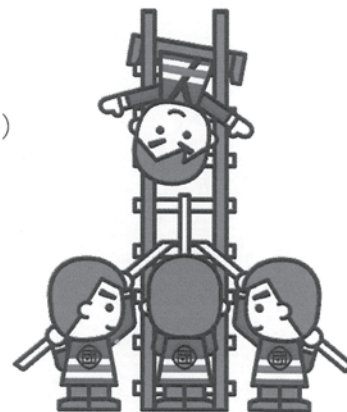
（1）女性団員確保の取り組み例

①市民へのPR

- ・市町、地域のイベント、防災訓練での啓発・PR。
（消防クイズ、紙芝居、劇、啓発グッズ配布、募集のノボリ等）
- ・SNS等の活用による活動状況の発信。
- ・市広報誌やHPの掲載。
- ・バス停や駅でのポスター掲示 等

②勧誘

- ・大学への女子学生の入団依頼。
- ・女性団員の知人を直接勧誘する。
- ・「あなたにもお手伝いいただきたい、女性消防団員募集」を全面に打ち出している。
- ・女性消防団発足時にチラシ全戸配布。



（2）女性団員確保の課題

- ・大学生を勧誘しているが、長期活動が難しい（卒業後退団の可能性）。
- ・広報誌掲載やポスターだけの勧誘では効果が薄い。
- ・入団することによるメリットが無い。
- ・定数枠が決まっている。
- ・欠員が出た時の不定期な募集になるため応募しにくい環境である。
- ・家庭が優先で活動しにくい。
- ・地域で女性消防団員の活動内容を理解している人が少ない。
- ・女性団員が集まる機会が少ない。
- ・女性団員ができることや女性団員しかできないことの明確化 等



テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(1) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	☆家族を守る為 ・熱中症や台風などのシーズンに合わせて、身近に防災の必要のある時に教育委員会などを通しての有効的発信。 ☆企業の必要性、安全性を守る為 ・災害が起こった場合の対応の為の入団をすすめる。 ☆入団のハードルを下げてのPR ・曜日別、時間別の参加などの提案。 ☆体感型の防災イベント参加などからの身近に感じていただく事によるアピール。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(2) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・町単位での防災訓練でアピール。 ・男性団員からも声かけを。 ・特典が欲しい。 ・NHK ニュース 645、845 でPR 広報。 ・消防団長から家庭訪問。 ・子どもから家族に伝える知識がつく。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(3) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・女性団員がいるということ、こんな活動をしているということをPR し、まず興味を持って貰う。 ・大学生団員を短期的に考えるのではなく、卒業後も地元や他の地域で入団してもらえるように、消防団活動において特別視しない、「良い活動」だと思ってもらう→就職活動のためだけではない。
-------------------	--

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(4) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 消防の広報車で火災予防などと一緒に入団を呼びかける。 ・ 地域イベント会場で消防のブースを設けてアピールする。 ・ 広報誌で PR。 ・ メリットや活動内容を具体的に示して興味や関心を持ってもらえるような場を作る。 ・ 活動内容を明確にする。 ・ 活動を充実させて、団員を楽しませる。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(5) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 勧誘（友達の友達のつながり）。 ・ SNS 等での発信。 ・ 地域の人に女性消防団員がいる事を知って貰う。 ・ 広報車での火災予防パトロール。 ・ 女性消防団員同士の交流をする。 ・ 各市内のイベント、まつりへの参加により、女性消防団員のいる事をまず知っていただく。 ・ 広報活動や救急救命講習会に参加する事で声がけしている。PTA お母様への声がけ。 ・ 活動の内容を SNS の活用を考え少し進めていっている。 ・ 広報活動、女性の声でアナウンスが流れるのも一つの PR になっていると考えている。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(6) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 女性団員の認知度をあげる。 ・ 女性団員の活動を市民に知ってもらう。 ・ 活動服を着てイベントに出る。市民のみえる場で伝える。 ・ 女性団員が楽しく活動を行う。 ・ ティッシュ、チラシを配る。 ・ SNS での情報拡散。 ・ 広報誌、新聞（マスコミに取材してもらう）。 ・ 市民間の横のつながりを大切に、情報交換し、よりよい活動ができればと思う。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(7) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 一人一人に（知り合いに声かけ）。 ・ 役割や活動を明確にし、入団した後の活動内容を相手に伝える（知って貰う）。 ・ 県で課題が違いすぎる。地域差をなくす。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(8) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 団員になったら就職に有利。 ・ ママさんバレーなど、スポーツ系の団体へ入団 PR する。 ・ 献血スペースにポスターやパンフを置く。 ・ 病院の待合室にポスターやパンフを置く。（小児科等） ・ シニア世代へ声かけ。
-------------------	---

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(9) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ 広報誌、ホームページ、勧誘 ・ お祭りなどの行事で声かけ、地元の大きいスーパーなどでも。 ・ キャンギャルから始める。 ・ お友達からの紹介、推薦。 ・ 夫婦、親子、姉妹。 ・ ポケットティッシュにチラシ。 ・ 折り紙で消防車を作って配布。 ・ 親へのパンフ配布。 ・ ママさんバレーボール大会で、制服、活動服を着て PR。 ・ 団員になった際のメリットを伝える。 ・ 消防団員カード。 ・ 増やしたいけど定員があって増やせない。
-------------------	--

テーマ2

「女性消防団員確保の効果的な取り組み」

(10) 班

【まとめ】

女性消防団員確保の効果的な取り組み	・ チラシなどスポーツジム、会館などに置かせてもらう。 ・ 地域イベントに参加して PR。その時にチラシを配り声かけをする。 ・ お祭りで劇や紙芝居、防災ダックをして消防団 PR、チラシ配り。 ・ 自分の分団のアピールができるようにする。分団の強みを作り入りたいと思ってもらえるようにする。 ・ ママ友、野球少年団卒後の保護者を勧誘する。 ・ 体験入団があれば入りやすいかもしれない。 ※【課題】 ・ 大学生が入団しても卒業したら退団。戻った土地で消防団に入団してくれたら良いが、定着率が悪い。 ・ 長期活動が負担になっている。
-------------------	---

アンケート調査結果

平成30年度女性消防団員活性化研修会アンケート結果

平成30年8月26日（日）実施

・研修会参加者数78名

・アンケート回答数78名

1 富山県小矢部市消防団嶋田分団長の講演について

【・非常に満足32名・満足38名・普通8名・不満0名・非常に不満0名・未回答0名】

感想	・自分も10年以上前に県代表でポンプ操法大会へ出場したので、当時のことを思い出し、感動しました。すばらしかった。 ・色々な活動に取り組まれていて、すばらしい。 ・女性消防団員の方々がとてもいきいき活動されているのを見て、すごく良い刺激になりました。 ・取り組みたいと思うことを実現するのは難しいですが、実現されているのですごいです。 ・家庭を持つ女性への配慮がありつつ、活発に活動されている様子に感心した。地域密着、連携など大事なワードをたくさんもらい、改めて考えるきっかけとなった。 ・団員確保の取り組みとして、家族への活動報告書を送付する取り組みはとても良いアイデアだと思う。 ・「協力員」を地域に広げていけたらと思います。 ・直接市に発言できる人がいるとすごいと感じました。 ・操法大会のDVDを見て、自分達の参加した練習のつらさを思い出し、共感した。操法大会でメンバーが一つになれたというところも共感できた。 ・女性連絡協議会というものがあるのが良いと思った。 ・身体障害を持った方や海外の方の為の防災など、実際に災害が起きた時の事を想定して、日頃から訓練をされているので、自分達ももっと役立つ為になにかしていきたいと思う。 ・非常袋の点検、非常食の試食など、今後の講習会等の参考になった。 ・DVD、とても良かった。 ・非常食の確認、実際に試食してみる等取り入れて、やってみたい。 ・嶋田さんの思いがとても伝わりました。楽しく進められたら（そうなる為には厳しい訓練が必要となるのでしょうか）と思います。 ・操法の取り組みに感動しました。 ・地域の課題として高齢者の避難を思っていたが、障害者への対応は思いつかなかった。今後は自分の地域にどんな状態の人がいるのか考えていかないといけないと思った。 ・様々な活動を実施されていて参考になりました。 ・協同作業により団員のつながりが強くなると感じた。 ・自分達で何ができるか、もっともっと考えていかないといけないと思
----	--

	った。 ・炊き出しなどのレシピがあるのがとても良いと思った。 ・写真がたくさんあって見やすく分かりやすかったです。 ・ポンプ操法大会に行ってみたいと思った。 ・手作りバケツに興味がある。 ・「人を助けるために」自分が出来る事。防災士になったときのことを思い出し、初心にかえることができた。 ・マニュアルを作り、データ化して、次へ繋げていきたい。 ・嶋田分団長の実際の体験や活動など分かりやすく話していただき、良い経験になりました。分団の定例会で報告したいです。 ・活動について、やらされているという考え方から自分からやっているという考え方にしていきたい。 ・今やっている活動を次にスキルアップできるようにしていきたい。 ・少ない団員だからできないのではなく、少ないから出来る事を考えたいです。
要望	・課題→改善（工夫）→解決のプロセスや考え方を教えて欲しい。

2 姫路市女性消防団員による活動事例発表について

【・非常に満足 38名・満足 33名・普通 4名・不満 0名・非常に不満 0名・未回答 3名】

感想	・私達の団も、同じような企画を準備しているので、参考になりました。 ・分かりやすい歌詞、ゆるキャラ登場で子供も楽しめる。 ・非常に良い勉強になり、自分の団にも取り込みたいと思いました。 ・歌の内容もわかりやすく、言葉で伝えるよりも印象にのこりやすいと感じました。 ・心にしみる言葉と表現でした。 ・発足4年目で、地域のイベントの参加をされていて、うらやましい。 ・とても楽しく聞かせていただきました。市民の皆さんにも伝わりやすいと思います。 ・ダンス、歌により肝心なことを覚えてもらうことは非常に大切で有効であると感じた。 ・緊張されていたと思いますが、歌とダンスで分かりやすく伝えているなと思いました。チラシを配って啓発も効果がありますが、今回見せてもらった事もとても効果があると思います。 ・広報活動で、すごく親しみやすく、楽しく、心肺蘇生が覚えられて良かったです。 ・歌詞がわかりやすく、曲も穏やかなので、高齢の方にも受け入れてもらいやすいと思う。 ・自分達も音楽に合わせて AED をやっているが、動きを考え直し中なので、取り入れたい。
----	---

3 グループディスカッションについて

【・非常に満足 40名・満足 27名・普通 8名・不満 0名・非常に不満 0名・未回答 3名】

感想	・活発な意見交換ができて、参考になることもたくさんあった ・様々な意見や考えを聞くことができ、ためになりました。 ・同じ思い、同じ目的を持った人たちの集まりなので共感できるところが多く、新たな取り組みの参考になった。 ・播磨町消防団がされている劇や新聞作りがすばらしいと思いました。 ・時間が足りなさすぎる（形だけのディスカッションは意味がない）。 ・ディスカッション時間が短い。 ・自分達の行動を認めて頂けたこと、嬉しく思います。 ・住民とのパイプ役が女性の役割であると思う。 ・テーマが難しかった。一つのテーマ（困っていること、自分達の活動を知って貰うこと）で話し合うことが良い事なので、良い話を聞かせていただいた。 ・どの市の方も思いは同じで、もどかしい気持ちも同じで、もっと交流し、楽しい時間を共有して、今後に繋げたい。 ・大変楽しく貴重な機会だった。 ・基本的にグループディスカッションは苦手ですが、得られる情報は多いですし、参考になります。 ・同じ苦労を共有できた。今後の活動を進めるための具体的な方策の提案があったので参考にしたい。 ・グループでも色々な意見が出て、他の分団でも悩み事や活動内容が聞けて良かったです。発表でもたくさんの意見で参考になりました。 ・各団の取り組み、実情を共感することができてとても良かった。 ・他市の取り組みや意見交換ができる時間は貴重だと思う。 ・発表者や書記など、今回のように予め決めておいたほうが時間短縮になり、良いと思った。 ・女性消防団員に何ができるのかや情報連携の大切さが分かった。 ・発表に気を取られて、意見や情報交換があまりできなかったが、発表という目標があると、団結力が増したので、面白かった。また、それなりの現状共有はできたので、持ち帰って自団での取り組みを考えていきたい。有意義に過ごせた。
要望	・ディスカッションの発表は精神的にしんどいので、後でまとめて資料として配っていただけると幸いです。 ・発表するテーマは選ばせて欲しい。 ・団員確保の話し合いより、活動内容が知りたい。 ・発表のための話し合いになり、発表の仕方に頭がいっぱいになるのでもう少し時間に余裕が欲しい。 ・もっと気楽なかたちでやりたい。

4 女性消防団員活性化研修会や活性化大会の内容やあり方についての意見、要望。

意見	・グループディスカッションで、色々な団の取り組みや自分の団の取り組みを話すことが一番身近で勉強になります。 ・グループ分けで、他市町の方と交流ができて仲良くなれるのは本当に楽しい。 ・女性ならではの対応の一つとして、避難所の運営の知識を高めるため、中長期的に HUG の研修を継続させるのも良いと思う。毎回内容が違うので、一過性の研修になっているように思う。 ・HUG について、もっとつきつめた研修ができたらの意見が出た。 ・兵庫県として、一つの目標を掲げて取り組んでいけるものを作ったら良いと思う。例えば HUG は、女性ならではの視点もあり、重要だと思うので、県全体で取り組んでいけばこれからの災害にも強くなると考える。 ・お弁当が女性向けて嬉しい。時間も内容もちょうど良い。 ・今回の出会いや交流が持続するような仕組みや情報共有の手段があれば良いと思う。
要望	・活動事例発表を見たい。 ・他団との交流の場はなかなか無いので、今後も作っていただきたい。 ・心肺蘇生法も時々してほしい。 ・市と市の横のつながりが女性消防団員の認知力にもつながると思う。 ・包帯、三角巾などは忘れないように繰り返し行うことが大切。 ・食事は班別ではなくても良いと思います。食べる時は気を遣わずゆっくり食べたい。 ・昼食をグループごとに食べることで、午後からの話し合いもスムーズに入っていた。 ・炊き出しなどしてみたい。 ・室内が暑く集中できなかった。 ・防災訓練での啓発、PR 等、他市や他県がどのような事をしているのか知りたい。 ・寸劇などが完成するまでの準備、やり方、練習方法などご教示いただきたい。 ・備蓄食のありかた、賞味期限などすぎそうな食品などの活用など皆で考えたい。 ・座学、グループディスカッション、実技が上手く分散されているので良いと思う。次回は実技もお願いしたい。 ・女性消防団員のあり方を消防署も男性消防団員の方々も理解していただくことが大切だと思う。広報のみのマスコットの所があるので他にできることがあればさせていただきたい。 ・女性消防団員自身の防災研修会、クイズ形式で学ぶ場があればと思う。

	・意見交換や雑談が出来れば良いと思う。 ・男性と合同の活性化研修会を実施し、お互いの考えや交流することで、女性消防団員が活性化できると考える。
--	--

（公財）兵庫県消防協会

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4-16-3

TEL：078-333-8073

FAX：078-333-8076

URL <http://www.hyogoshoubou.jp/>